2024年9月27日号　三重タイムズ

知って得 医療・介護

⑱ 看護師の仕事を知ってもらいたい

藤田医科大学七栗記念病院
看護師 塩地由美香

懐かしい校舎の匂い…。先日、中学2年生の皆さんに、看護師の仕事についてお話をする機会がありました。将来の夢や職業、働くことなど、自分の未来について考えるキャリア教育の一貫でした。体操服姿の学生の皆さんは、目を輝かせ真剣に話を聴いてくれました。「もっと病院で働く仕事を知りたい」「一人の患者さんのためにチームでケアするなんて知らなかった」「看護師にはどうしたらなれる?」などの質問を受け、胸が熱くなりました。

そこで、皆さんに看護師という職業をこの機会に、少し知ってもらいたいと思います。

看護師の仕事は、3K（きつい・汚い・危険）と言われます。日本もここ数年は、コロナ感染症が猛威を振るい、医療が逼迫。看護師も必死に目の前の患者さんを救うために、役割を全うする日々です。それでもやりがいと充実感を得ることができ、一生働き続けられる仕事です。

看護師の資格を取得するには、高校卒業後、看護大学では4年、看護短期大学・看護専門学校では3年、中学卒業後でも5年一貫の看護師養成課程で学び、国家試験に合格すると看護師になることができます。

看護師の働く場所は病院と思われがちですが、高齢化や生活習慣病の予防などを背景に、様々な場所で活躍しています。訪問看護ステーションや老人保健福祉施設、養護施設や学校の保健室、企業の健康管理室や看護学校などでも働くことができます。さらに保健師や助産師、大学院へ進学し、学びを深める人たちもたくさんいます。

看護師の仕事は、診療の補助と療養上のケアから人々の健康維持・増進を支援します。病気やけがの治療を受ける人、介護を必要とする人、体や心の健康上の様々な問題を抱えながら生活する人々を支えます。「食べる」「排泄する」「清潔を保つ」「休息する」など日常生活が安全に苦痛なく、その人らしく快適に過ごせるように環境を整え支援をします。患者さんや家族の相談など心のケアも大切な役割です。そして、多くの専門職でつくられた医療チームの一員として治療やケア、生活の再構築を支援しています。

看護師は、患者さんの「笑顔」や「ありがとう」という言葉にやりがいを抱きます。うれしいことばかりではなく、人生の終焉の場に立ち会う時もあります。それでも、私たちは自分の仕事に誇りと責任をもち働いています。看護師の仕事…ピカイチだと思います。